

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

院内BLS講習 再開しました



BLSとはBasic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置の事です。正しい知識と適切な処置の仕方を知っていれば誰でも行う事ができます。

BLS講習会はコロナ禍で一時中断していましたが6月より再開しました。インストラクター指導の下、看護師以外にも看護補助者、リハビリスタッフ、事務職が受講しています。胸骨圧迫、気道確保と換気、AED(自動体外式除細動器)の使用方法など、より現実的な研修を行っています。そして、修了者には院内教育委員会承認BLSバッジが渡されます。名札の横のBLSバッジがついていたらBLSを受講したんだと分かるようになっていきます。バッジは組合員さんへの安心保障です。病院へお越しの際はそっと確認してみてください。

今後の目標は医療従事者としていつでもどこでも救命活動ができるようにすることです。そのために、月1回BLS講習を行う計画と、10月にICLS(二次救命処置)講習を行い、更なる向上を図りたいと考えています。沢山の職員が受講し、より安全・安心な医療を提供する病院となるよう、みんなで学んでいきます。

院内教育委員会

BLS担当(副総看護師長) 保村 育子



《ご意見》

大きい手術後の通院中です。診察後は、少しリラックスしたいし、気分転換にコーヒーとか軽食の場があるとありがたいです。他の病院はあるのに、ここは無いのが残念です。すみません、わがまま言ってしまい申し訳ないです。

《回答》

ご意見ありがとうございます。3階にレストランがございますのでご案内いたします。1階総合受付となりのエレベーター前に改めて案内表示をさせていただきます。どうぞご利用くださいませ。

総合案内 大田 明子

レストラン『オアシス』(3階)

営業時間 平日 9:00~16:00(ラストオーダー15:30)
土曜日 9:00~14:00(ラストオーダー13:30)
※日曜・祝祭日は休み



病院の活動状況 <2024年7月度>

- ・外来一日平均患者数：346人 (前年同月比 +37人)
- ・組合員利用分量(率)：54.5% (前年同月比 -2.6%)

- ・入院一日平均患者数：277人 (前年同月比 +18人)

脳動脈瘤に対する脳血管内治療

ひらき道

②11 脳神経外科/脳血管センターより



未破裂脳動脈瘤は脳ドックや頭痛、めまいなどの精査目的で行った頭部MRI・MRA検査で偶然に見られる事の多い疾患です。多くの場合は無症状ですが、時には周囲の脳や神経を圧迫するほど大きなり複視(物が二重に見える)やふらつきなどの症状を有する場合もあります。多くの未破裂脳動脈瘤は生涯破裂することが無いのですが、残念ながら現状では具体的にどの未破裂脳動脈瘤が将来破裂に至るのかを判断する術はありません。ガイドラインでは5mm以上の大きさのものや形が歪なものなどが治療適応とされており、治療適応と判断した場合は脳血管内手術と開頭クリッピング術のいずれかを行うという事になります。脳動脈瘤の部位、大きさ、形状、周囲血管や神経との位置関係などを総合的に判断して決定します。どちらの手術でも治療が可能な脳動脈瘤の場合には双方の利点、欠点を説明の上、患者さんと相談して決定致します。

血管内手術はマイクロカテーテルと呼ばれる先端径が1mmに満たない管を脳動脈瘤内に送り込み行います。プラチナ製のコイルを動脈瘤内に充填し、造影剤で脳動脈瘤が写らなくなれば終了です。脳動脈瘤の頸部が広くコイルが安定しない場合にはバルーンカテーテルやステントを併用してコイルが母血管に逸脱しないようにします。手術の前後には術中に血栓が過剰に形成されるのを予防する目的で抗血小板剤の内服をして頂きますが、ステントを併用した場合には術後長期間(1~2年)の内服継続が必要になります。

脳血管内治療が開頭術に勝る点は、開頭が必要でないため低侵襲で術後の体力回復が早く、経過に問題がなければ早期退院・社会復帰(術後5~6日で退院、すぐに仕事復帰)が可能であること、開頭術では到達が困難な深部の脳動脈瘤でも到達可能であること、であり、開頭術より劣る点は、脳動脈瘤の入り口を完全に閉鎖する治療では無いために術後の脳動脈瘤再発・再治療の可能性が開頭術に比べて高いこと、であります。術後の再治療の可能性は8~10%程度あると言われていますが近年の技術進化にもなっておりその適応は広がってきており、再治療の可能性も低下してきている印象です。

脳神経外科 脳血管センター長 木本 敦史

産後ケアについて

4階病棟南では、心身の疲労を抱えるママ達を支援するための産後ケア事業を展開しています。リラックスして休息できる環境を提供し、育児指導を行うことでストレスを和らげ、心身の回復を促進しています。リラクゼーション目的で、アロマオイルマッサージを行ったり、BABYフォトや足形のプレゼントは大変好評です。私達の目標は、ママ達が元気を取り戻し、再び育児に専念できるように支援することです。多くのママ達からたくさんのお褒めの言葉を頂き、モチベーションアップにも繋がっています。今後も地域の皆さんのために日々活動を続けてまいります。

産後ケアの申込は役所が窓口になっています。当院は、那覇市、豊見城市、南風原町と契約していますので役所から決定通知書が届いたら当院での予約が可能です。他院で出産された方も生後4カ月までは申込できますので、ぜひご利用ください。

4階病棟南 師長 辺士名 ひとみ



こんにちは
赤ちゃん
7月生まれ
当院で出生したBabyの写真です



▶ 部署紹介

②9 医療安全管理室

医療安全管理室は、感染管理認定看護師1名、感染制御実践看護師1名、医療対話推進者1名、医療安全管理者1名、事務1名の5名の部署です。

医療安全管理室メンバーは患者さんが安全に安心して医療が受けられるように、また、職員が安全に働けるように様々な活動を行っています。その一つとして対話推進者は患者相談窓口で患者さん・ご家族の気がかりなことや不安なことのご相談をお受けしています。

その他の活動として院内ラウンドがあります。各部署を定期的に訪問し、安全の視点、感染対策の視点から改善が必要な部分を指摘し、改善してもらい、良い部分はさらに良くしてもらおうという取り組みです。これからもいろいろな活動を通して安全・安心な医療の提供をしていけるよう頑張っていきます。

医療安全管理室 室長 大城 ミサエ



委員会活動報告 28! 診療材料検討委員会



診療材料検討委員会について紹介させていただきます。会議では主に新規採用したい起案のあった診療材料について討議します。そこで出た意見をもとに各部門に確認を取り、最終的に病院管理会へ伺いを立てて採用可否が決定する流れとなっています。また昨今の物価高は診療材料に関しても同様で多くの物品が値上げとなっています。このような理由から同等の安価な診療材料へ切り替えを行うことも会議で検討しています。

患者さんへの医療サービスの質を維持しながら材料費を抑えることが経営の安定化に繋がるので、今後も引き続き費用削減に努めていきたいと思っております。

事務局長(用度課 課長) 大城 拓也



頼りの食料(自給率38%)は絶望的になる。そうならウンチエーバーに頼るしかない。スーパーから買ったものをプランターに挿して水と肥料を与えるだけ。収穫すればするほど収量は多くなる。サバイバルの時代はそこまで来ている。

ハルサー 金城 稲子

ハルサー だより ⑲

ウンチエーバー

も昔から食されている。特に葉野菜の少ない夏場には重宝する。それにホウレンソウの倍以上栄養価が高く生活習慣病予防、老化防止に効果がある。東南アジア圏に肥満が少ないのも納得だ。ウンチエーは本土でも栽培され「エンサイ」の名で売られている。20年以上前は中国名の「空芯菜」や「クウシンサイ」という日本語読みで店頭に並んでいたが1998年にある事業者によって商標登録され使用できなくなった。(「さんびん茶」も本土の大手メーカーに登録商標されたが、沖縄の業者が団結して取り戻した)。それで「空芯菜」の中国での別名「ウエンツァイ」→「エンサイ」になったという。方言のウンチエーも「ウエンツァイ」が訛ったものと思われる。※沖縄産のウンチエー(サツマイモ属全般)はイモソウムシ等の宿主になることから植物検疫法で本土への持ち込みは禁止されている。

さて、テレビではあまり報道されないが、8月に入ってネットでは「令和の米騒動」のワードが目立つ。スーパーの棚から米が消えているという。原因は生産調整、昨夏の猛暑、訪日外国人需要の増大等が原因だと言われるが…。それは今に始まったことではなく想定内だ。平時で自給率100%の米が不足するとは。備蓄米は？等気になるが今後地球規模の温暖化が進めば他国頼りの食料(自給率38%)は絶望的になる。そうならウンチエーバーに頼るしかない。スーパーから買ったものをプランターに挿して水と肥料を与えるだけ。収穫すればするほど収量は多くなる。サバイバルの時代はそこまで来ている。